APEC TEL 戦略行動計画 2010-2015

(仮訳)

序論

APEC の発足以来、首脳及び大臣は、経済成長を促し、貿易・投資の自由化、 ビジネス促進、経済的・技術的協力といった APEC の包括的な目的を実現する 上で、ICT が果たす重要な役割を認識している。

これらの目的を達成するために、APEC TEL は、次の5つの優先事項に取り組む。

- 新たな成長へ向けた ICT 開発
- ICT 利活用を通じた社会経済活動の向上
- 安全・安心な ICT 環境の推進
- 地域経済統合の推進
- ICT 分野における協力の強化

次に掲げる項目は、2010年から2015年の期間において、APEC TELがどのようにAPECの目的とTELの優先事項に寄与していくかを示したものである。

APEC TEL 戦略行動計画

1. 新たな成長へ向けた ICT 開発

APEC TEL が 2010 年から 2015 年に行動すべき重要な分野

2015年までに達成すべきユニバーサルアクセス

2015年までに全ての APEC エコノミーにおいてブロードバンドのユニバーサルアクセスを実現できるようにネットワークを拡大する。

途上エコノミーを支援する戦略

途上エコノミーにおけるブロードバンドネットワーク展開を支援する戦略を 明確化し普及を進める。

特別なニーズを持つ人々のための ICT 可用性

エコノミーが ICT を特別な二一ズを持つ人々にとってより利用しやすくする 戦略を開発・遂行することを奨励する。

IPv6 の域内展開

情報共有と技術協力を通じて公共・民間部門における IPv6 インフラの導入を推進する。

エコノミーの効果的な IPv6 への移行を支援するガイドラインを策定・実施する。

インフラ<u>共有</u>

エコノミー内での効率的なインフラ共有のための情報交換やベストプラクティスの取組を展開するための機会を提供する。

2. ICT 利活用を通じた社会経済活動の向上

APEC TEL が 2010 年から 2015 年に行動すべき重要な分野

革新的な技術及びサービスの展開

クラウドコンピューティングやグリッドコンピューティング等の最新技術や サービスの導入を促進するため情報を共有し、エコノミー間の協力を推進す る。

スマートグリッドとセンサーネットワーク

以下の観点を含めた結果を追求するためにスマートで回復力が高いグリッドやセンサーネットワーク等の ICT アプリケーションを発展・促進させる。

- 経済的効率性や成長の向上
- 環境面の利点

社会経済活動の原動力である ICT アプリケーション

以下のような ICT アプリケーションのベストプラクティスを共有する。

- 公共・民間部門がグリーン ICT を実施するためのベストプラクティスを展開・推進
- 災害管理ネットワークの強化による災害対応の効果を向上
- 電子商取引、電子医療、電子教育や電子政府などのオンライン上のサービスをより効率良く展開するための ICT 利活用についてベストプラクティスを展開・推進
- 実証プロジェクトの実施

3. 安全・安心な ICT 環境の推進

APEC TEL が 2010 年から 2015 年に行動すべき重要な分野

安全・安心な ICT 環境

個人情報を保護し、ネットワークシステムのセキュリティーを推進する消費者保護政策に重点を置き、安心・安全な ICT 環境を構築するための戦略の展開・普及を推進する。

サイバーセキュリティーに関する能力開発

「APEC サイバーセキュリティー戦略」と「安全・安心・持続可能なオンライン環境への APEC 戦略」に沿って、ベストプラクティスの配布、情報共有、技術協力・訓練・教育を含む効果的なサイバーセキュリティーの取組の開発を奨励する。

サイバーセキュリティーに関する意識向上

サイバーセキュリティーに関する意識向上の取組を効果的に実施するための能力を構築、そしてこれらを可能な限り広範囲の APEC 活動と調和させる。特に、エコノミーは毎年「APEC サイバーセキュリティ意識啓発の日」を開催し、協力して活動する。

産業界とのサイバーセキュリティーに関する取組

サイバー上の脅威に対する効果的なサイバーセキュリティーに関する取組に向けて具体策を検討するため、インターネット技術団体、ISP、電気通信事業者を含む全ての関係者と協力する。

弱者グループのための安全・安心なオンライン環境

情報を共有し、オンライン上の弱者グループ、特に青少年を守るための政策を推進する。例えば、安全・安心なオンライン環境を確保するため、エコノミーを支援する能力開発を行う。

インターネットエコノミー

情報交換の推進により、安心・安全で生産性の高いインターネットエコノミー を進展させる。

4. 地域経済統合の推進

APEC TEL が 2010 年から 2015 年に行動すべき重要な分野

自由で開かれた貿易と投資

APEC 域内において自由で開かれた貿易の協定を促進する ICT 政策や規制枠組みを構築する。

技術適合性評価及び技術的要件との同等性

適合性評価に関する相互承認協定(MRA)へのエコノミーの参加を拡大し、技術的要件と同等性に関する MRA を実施する。

国際接続コスト

相互接続と国際モバイルローミング市場のような領域における競争と透明化を促進するため、APECの政策立案者や規制担当者の能力開発を行う。

自由で開かれた貿易と投資を推進することにより産業界の競争を促進し、接続コストを削減するインフラやメカニズムの整備を奨励する。

消費者意識

コミュニケーション苦情処理メカニズム、サービス価格、代替技術に関して、報告書の公開やその他の意識向上活動を通じて、消費者意識を向上させる。

業界関係者の学習強化

市場において競争・投資を促す効率的な規制手法を促進するために、エコノミーが TEL プロジェクトに積極的に参加し、知識や経験を交換することを奨励する。

海底ケーブル保護

断絶の範囲を最小限にし、海底ケーブルの修繕を迅速に行うため、情報を集め、 共有することで、海底ケーブルの保護を強化する。

5. ICT 分野における協力の強化

APEC TEL が 2010 年から 2015 年に行動すべき重要な分野

APEC 域内における協力

以下の作業部会との関係を含む APEC 内における ICT 関連活動の協調を促進する。

- 例えばAPECサプライチェーン結合枠組への貢献を通じて地域経済統合を強化しこれに貢献するため、自由で開かれた貿易と投資を促進し、ICTが貿易物流を如何に促進するか明確にするための貿易投資委員会
- 安全な ICT 環境を推進するための電子商取引運営グループとテロ対策タス クフォース
- 効果的な電子医療の利用を明確化するための保健作業部会
- 緊急時への備え、災害予防・軽減のために ICT を利用する便益を増進する ための緊急時準備作業部会

APEC 域外との協力

OECD、APT、ITU 等の関連のある国際機関やインターネット関連技術管理団体と次のような課題に関して協力することで、成果の向上を図る。

- 関連するサイバーセキュリティに関する取組の展開、遂行及び促進
- 国際通信コストの削減
- 関連する環境面での課題への対処